

多面的機能支払制度の取組状況等
について

平成31年2月20日

1. 多面的機能支払交付金について

制度の概要

区分		支援対象組織	主な支援対象活動	交付対象農用地	10a当たり交付単価	備考
農地維持支払		農業者等で構成する組織	・草刈り、水路の泥上げ等	農振農用地 ＋ 市町村が必要と認める農地	田：3,000円 畑：2,000円 草地：250円	
資源向上支払	共同活動	農業者及びその他の者で構成する組織	・水路、農道等の軽微な補修 ・景観形成活動 ・防災の強化 等	農振農用地のみ	田：2,400円 畑：1,440円 草地：240円	※以下の場合、交付単価は75% ・5年以上継続している組織 ・共同活動と施設の長寿命化を一緒に取り組む組織
	施設の長寿命化	農業者及びその他の者で構成する組織	・水路等の補修、更新	農振農用地のみ	田：4,400円 畑：2,000円 草地：400円	・広域活動組織でなく、かつ直営施工を実施しない場合基礎単価の5/6単価 など

活動期間

活動期間は原則として5年間
(平成26年度～平成30年度)

負担割合

国 1 / 2、県 1 / 4、市町村 1 / 4

2. 農地維持支払の取組状況

富山県目標値

○農地維持支払

2, 026年度に、農業振興地域内農業集落数の8割の1, 600集落が取り組むことを目標とする。

富山県の平成30年度の農地維持支払取組状況（推定値）※6月末確定

○取組集落 : 1, 431集落（H29年度1, 410集落）

○取組面積 : 41, 965ha、取組率75%
（平成29年度 41, 445ha、取組率74%）

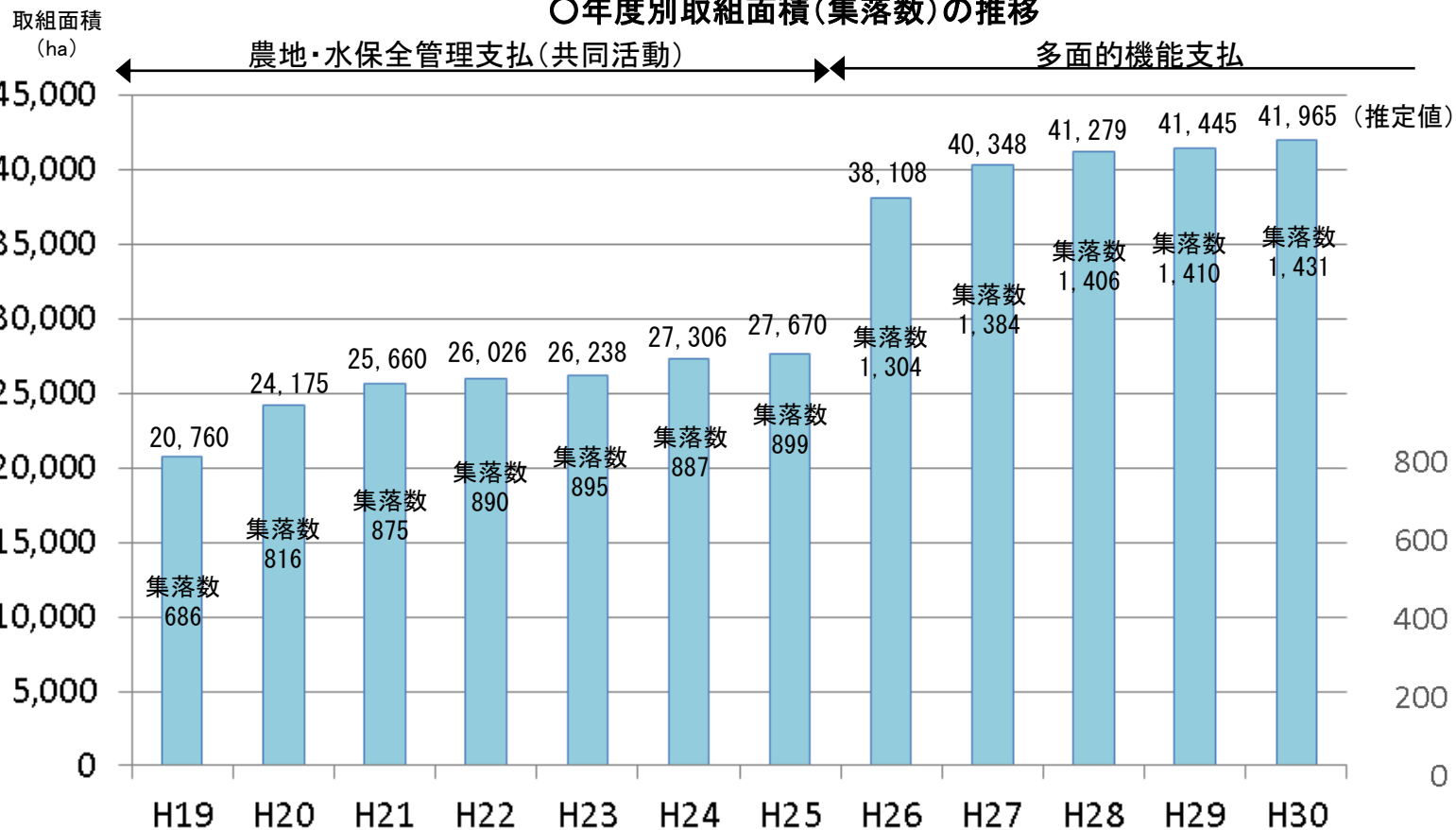
H29全国平均54%、本県の取組率は全国第3位

3. 農地維持支払の県内の取組状況の推移

- ・平成30年度の取組面積は、前年度比で約1.2%増加する見込み。
- ・地目別に見ると取組面積の97%を田が占めている。
- ・農振農用地以外の農地における取組※が増加している。

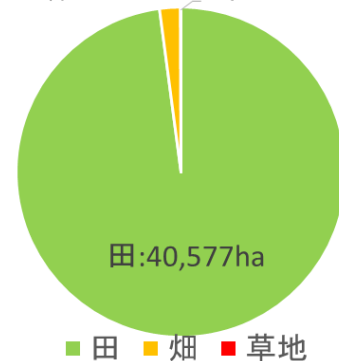
※平成26年度より、農振農用地と一体的に取り組む必要があると認められる市街化区域内の農地等も交付対象となった。

○年度別取組面積(集落数)の推移

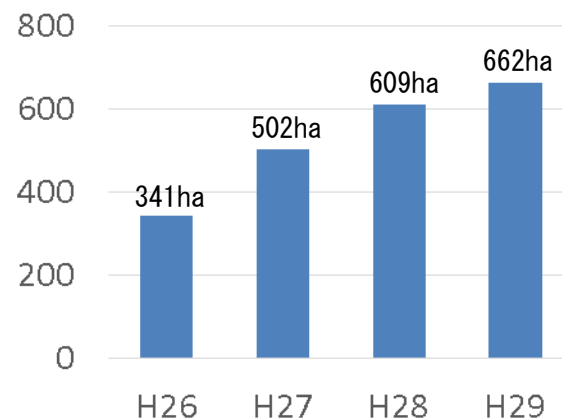


地目別取組状況 (H29)

畑:847ha 草地:21ha



農振農用地以外での取組



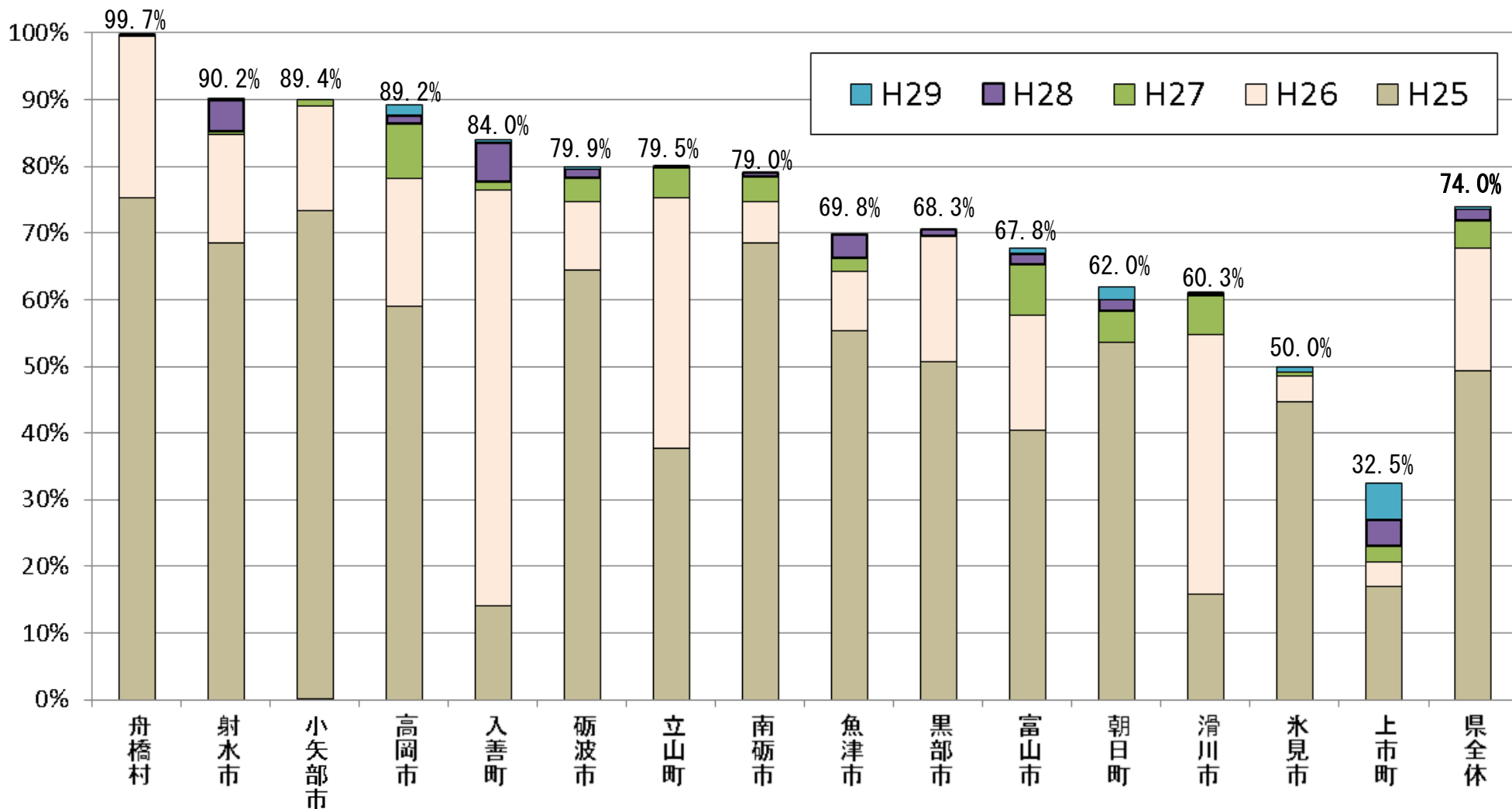
(H30. 12月末時点)

4. 市町村別の農地維持支払の取組状況

- ・取組率は地域ごとに格差が見られる。
- ・近年の取組面積の伸び率は減少傾向。

新たな活動組織の設立に向けた対応

- ・取組率の低い市町村の未取組集落を対象に説明会を開催



①農地維持支払の取組み

農業者等で構成される活動組織で行う、水路の泥上げや農道の草刈等の地域資源の基礎的保全活動等を支援する。

【交付対象面積】 H29 : 39,708ha → H30 : 40,206ha

【交付単価】 田3,000円/10a、畑2,000円/10a、草地250円/10a

※1,410集落（1,012組織）で実施（H29実績）



地域ぐるみによる草刈り



水路の泥上げ

②資源向上支払(共同活動)の取組み

地域住民を含む活動組織が行う、農道・水路等の軽微な補修や幅広い農村環境保全活動等を支援する。

【交付対象面積】 H29 : 34,672ha → H30 : 35,234ha

【交付単価】 田2,400円/10a、畑1,440円/10a、草地240円/10a

※1,202集落(868組織)で実施(H29実績)



美しい景観形成のための植栽活動



水路の目地補修

③資源向上支払(施設の長寿命化)の取組み

老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援する（平成23年度より）。

【交付対象面積】 H29：12,680ha → H30：12,610ha

【交付単価】 田4,400円/10a、畑2,000円/10a、草地400円/10a

※402集落（282組織）で実施（H29実績）



水路の補修・更新

5. 富山県多面的機能推進協議会について

【平成30年度の活動内容】

○4月23日 通常総会

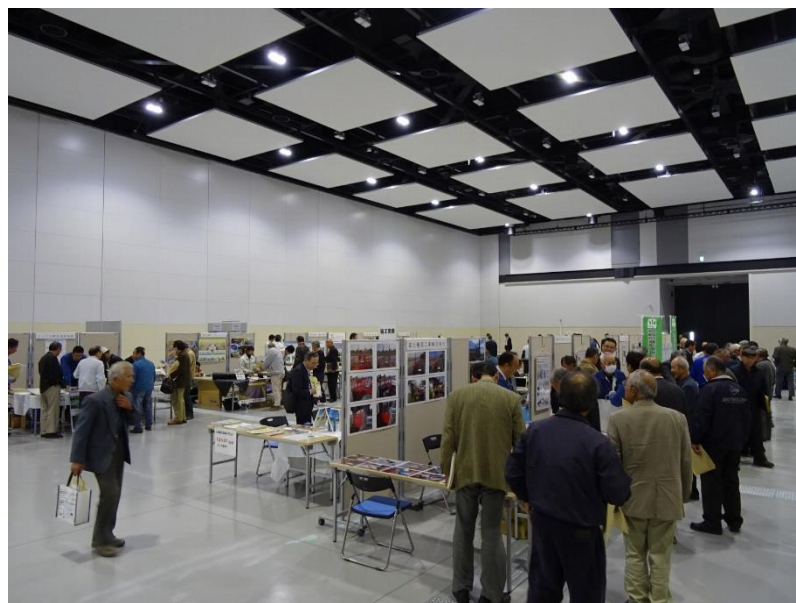
○11月21日 富山県多面的機能支払推進研修会の開催

- ・ 福井県の取組状況について（講師：福井県農林水産部農村振興課）
- ・ 活動組織の広域化による地域コミュニティの形成と農村振興
（講師：福井県多面的機能発揮推進協議会）
- ・ 楽なアゼ管理と農村環境保全のために「こんなカバープランツ、こんな植え方」
（講師：兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター）

○ホームページの管理、活動事例調査

○構成員

富山県、市町村、富山県農業会議、JA富山中央会、
富山県土地改良事業団体連合会



6. 取組事例 ー 1

「吉岡地区活動組織」 (富山市)

H30年度「元気とやま」むらづくり推進大会で知事賞受賞

○取組面積: 23.6ha ○構成員: 農業者、自治会、児童クラブ等

○遊休農地を活用し、地域住民や児童の参加を得て、ヒマワリやサツマイモの植え付けや収穫作業を行うことで、地域交流の促進を図っている。

○未整備田で作業効率が悪く、農業用施設の保安全管理が困難な状況であったが、地域の自主施工により、計画的に農業用水路の改修を行っているほか、定期的な点検・清掃を実施する等、施設の維持管理に努めている。



遊休農地を活用したサツマイモの植え付け



自主施工による水路改修

6. 取組事例 -2

「反保島集落環境保全推進協議会」(高岡市)

H30年度「元気とやま」むらづくり推進大会で知事賞受賞

○取組面積: 65.9ha ○構成員: 農業者、壮年会、老人会、婦人会、児童クラブ等

○小・中学生の参加を得て農業用水路の生き物調査やゲンジボタルの観察会を通じて、幼いころから自然と触れ合える環境を提供しているほか、三世代交流により、地域コミュニティの強化に繋がっている。

○「水と川を守る」をテーマとしたポスターを募集し、優秀作品を掲出することで環境保全の意識づけを行っている。



小・中学生と連携した農業用水路の生き物調査



ポスターの募集・掲出

7. 平成31年度の取組方針

平成31年度は多面的機能支払の新たな活動期間（5年間）の初年度となることから、県・市町村・推進組織が連携して、活動組織の支援を行うこととする。

- 制度の変更内容の周知・指導
- 資源向上支払（施設の長寿命化）における活動組織への技術的指導
- 活動組織リーダー及びその後継者を育成するための研修会の開催
- 活動事例収集・発信